

式 辞

新しい春の訪れを感じさせる今日の佳き日に、PTA会長松下善法様、並びに卒業生の保護者の方々のご臨席を賜り、大分県立玖珠美山高等学校第五回卒業式を、盛大に挙行できますことは、本校にとりまして、この上ない喜びであり、衷心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました百七名の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの3年間の努力を称え、卒業を心から祝福します。

さて、現在、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、国内の様々な行事が中止や縮小されており、この状況がいつ収束するのか、先行き不透明な状況です。全国の小中高等学校の卒業式も、本校と同様に規模を縮小して実施しています。このような状況を、不安に感じる人も多いでしょう。しかしながら、人生の少しばかりの先輩の経験から言わせてもらえば、どんなに平穏に見える状況でも、人生の先行きは不透明なものです。私が、君たちの年齢の頃も、そのように感じたものでした。

先行きが見えないから、夢や目標が見えてきます。夢や目標があるから努力する。努力の過程で友人が増える。困難なことやプレッシャー、失敗のない人生なんて、味気ないものです。皆さんには、これからの変化の激しい時代を、楽しみながら「学び続ける覚悟」をもって生きてほしいと願います。また、学び続ける中で、人との出会いを大切にしてください。これまで皆さんに伝えてきたように、人は人との関わりの中でしか成長できません。人との関わりの中で、強く、優しくなることができます。皆さんが、この玖珠美山高校の3年間で、これからの不確定な世の中を逞しく生き抜く強さを身に付けたと確信しています。

保護者の皆様には、お子様のご卒業を、心からお祝い申し上げます。小さい頃からの成長の様子が思い出され、感慨もさぞひとしおのことと拝察します。本校に託していただいた三年間、教職員一同も全力で教育に当たってまいりました。ご理解とご支援を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

結びに、アメリカの伝説的な歌手であり、歌手として唯一のノーベル文学賞受賞者である、ボブ・ディランの「Forever Young」という歌の歌詞の日本語訳から抜粋し、卒業生の皆さんに贈ります。この「Forever Young」という歌は、彼が子どもに向けて作った祈りの歌だと言われています。

Forever Young 毎日が君の始まりの日／神様が君を祝福し、いつも見守っていてくれますように／君の願いがすべてかないますように／君が、いつも、苦しむ誰かのために尽くし、また、君が苦しむときは、誰かが君を助けてくれますように／君が星へと続くはしごを作り、一段一段のぼっていけますように／君が誠実な人でありますように／君が、風向きが変わろうとも、ゆるがない強い信念を持ちますように／毎日が君の始まりの日、いつまでも君が若々しくありますように／

それでは、お別れの時です。玖珠美山高校の卒業生として、皆さんのことを誇りに思います。皆さんを応援してきましたが、本当に勇気づけられたのは、いつも私の方でした。ありがとう。君の明日に幸せあれ。

令和二年三月一日

大分県立玖珠美山高等学校
校長 奥田 宏